

情報セキュリティ対策

お客さまの経営情報や情報システムに携わる立場として、お客さまから常に安心・信頼いただける企業であり続けるよう、セキュリティレベルの着実な向上を図っています。

情報セキュリティ総合戦略の推進

日本ユニシスグループでは1990年に「情報セキュリティ委員会」を立ち上げて以来、長年情報セキュリティ対策に取り組んできました。近年では2004年に「第一次総合戦略」を、2006年には「第二次総合戦略」を策定し、中長期的な視点からグループ会社一体となった情報セキュリティ対策を推進してきました。

こうした取り組みを通じてセキュリティレベルの着実な向上が図られ、2007年度末時点では、ほぼすべてのグループ会社がISO27001 (ISMS) 認証を取得するとともに、プライバシーマークについても7社が認証を取得しました。2008年以降もグループ横断的な情報セキュリティ力のさらなる向上に向けて、「総合戦略2008」を柱とした各種施策を推進していきます。

情報セキュリティ総合戦略の推移

2004～2005	2006～2007	2008～2009
第一次 総合戦略	第二次 総合戦略	総合戦略2008
ビジョン: 高信頼性ITサービス		
情報セキュリティの基盤構築 戦略1: 人/組織的対策 戦略2: 制度的対策 戦略3: 技術的対策	日本ユニシスグループ内 セキュリティレベルの確保 ● 社員をセキュリティ事故から守る ● お客さまの情報資産を守る ● 情報セキュリティブランドを確立する	グループ企業・委託先における横断的な 情報セキュリティレベルの確保 ● 日本ユニシスグループの情報セキュリティ 力を強化する ● 社員とともに「安全・安心」をつくる ● お客さまへ「安全・安心」を提供する

2007年度末の認証取得状況

ISMS グループ企業20社
 プライバシーマーク グループ企業7社

V OICE セキュリティ推進部門から

「セキュリティ文化」の定着に向けて

情報セキュリティ戦略を長期的な観点で実現していくためには、各分野における具体的な活動とともに、グループ企業内における「セキュリティ文化」を定着させていくことが重要だと考えています。そのためには社員一人ひとりの意識づけや啓発活動の積み重ねが大切で、セキュリティ対策に関する身近な話題をテーマとしたメールマガジン「Hot／ほっと通信」の発行や、eラーニング・集合研修などにも継続的に力を入れています。



イントラネットでの「Hot／ほっと通信」メールマガジン紹介

また、セキュリティ管理のサイクルを定着させていくためには、単に統制を強化するだけでなく「統制と利便性の両立」を重視したうえでの仕組み構築が必要になってくると考えています。

2008年以降も、これまで以上にグループ会社・パートナー企業が一丸となった活動を推進していくことで、お客さまに安心・信頼いただけるだけでなく、IT企業としてセキュリティ対策の「モデルケース」となれるような取り組みをめざしてまいります。



日本ユニシス
 総合セキュリティ推進部 部長
 三浦 充高